

目指す学校像

明日の登校を
楽しみに
できる学校



自主・自律

敬愛

協働

鶴中だより

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより

第7号

2025年7月18日発行

CLICK!

町田市立鶴川中学校

検索

1 1学期終業式講話

【1学期を振り返ろう】

おはようございます。今日で一学期が終わります。さて、4月から100日あまりが過ぎました。自分ができるようになったこと、大きく成長したなど感じることはありますか。あなただけでなく、あなたの周りの人も1学期に成長を遂げたはずです。今から時間を30秒ほどとりますので、それらを頭の中に思い浮かべてください。（30秒） それでは次にあなたの前後左右の人に、笑顔で「よく頑張ったね。」と褒め合ってください。そして褒めてもらったときには「ありがとう。」とお礼の言葉を述べましょう。 はい、ありがとうございました。このように指示を出すと、そのとおりに行動してくれる鶴中生、本当に素敵だと思います。どうもありがとう。

もちろん、自分が思い描いていたとおりの成長ではなかった人もいたでしょうし、保護者の方や先生に注意を受けてしまった人もいるでしょう。今日このあと担任の先生から渡される通知表をもとに、夏休みの予定や計画を立て、二学期は成長の実感が反省を上回ることができるようにしていきましょう。

いよいよ明日からは44日間という長い夏休みが始まります。長いと言っても、夢中になることがある人にとっては、あっという間で長いとは感じないかもしれませんね。3年生はもちろん受験勉強という、明確な目標がありますが、1・2年生でどう夏休みを過ごそうかまだ決めていない人には、ぜひ読書をお勧めしたいと思います。部活動や習い事に励む人も多いとは思いますが、論理的思考力や表現力を身に付けるには読書に勝るものはありません。普段読まないジャンルの本や、分厚い本など、夏休みならではの本に挑戦してみてください。

【広島の記憶】

3年生は9月に広島に修学旅行に行きます。今日はこのことに関連して一つお話をします。8月6日、9日、15日。それぞれ何の日か分かりますか。広島に原爆が落とされた日、長崎に原爆が落とされた日、そして終戦記念日ですね。原爆を落とされた広島、長崎には何度か訪れていますが、広島と言えば二人の方の思い出がよみがえります。一人は社会の教科書に赤く焼けただれた背中の写真が載っていた、谷口稜暉（すみてる）さん。谷口さんは16歳で被爆され、奇跡的に助かり、88歳で亡くなられるまでご自身の写真とともに核兵器の恐ろしさを伝えてくださった方です。私が高校で教員をしていたとき、修学旅行先が広島で、谷口さんにお話をさせていただいたことが非常に印象的でした。「ただかわいそう、痛かったらどうか私は見せ物ではない。私の体を見たら、誰がこうしたのか、誰のためにこうなったのか、みんなに知ってもらいたい。」という強い思いを、訥々とした口調で語られたあの日を私は忘れることができません。もう一人は、高校生のときに数学を教えていただいたA先生。声の素晴らしい先生で、今でもその先生の声が思い出せるほどです。A先生は、被爆者であることを隠すわけでも言いふらすわけ

でもありませんでしたが、3年間で一度だけ短く平和について語られたことを強烈に覚えています。私にとって谷口さんとA先生との出会いが広島に対するイメージのほとんどを占めます。なぜ広島と長崎に原子爆弾が落とされなければならなかったのか。多くの犠牲者が出た一方で、生き残った方々が長く後遺症や死の恐怖に苦しみ、無知や誤解による差別を受けなければならなかった現実。そして、そんなつらい体験の中でも「伝えなければ」という強い意志に支えられて様々な伝え方をされてきた事実。世の中には知ることによってつらい思いをすることもたくさんあります。「知らぬが仏」などという諺さえあります。しかし、世界中に自分のひどい背中のやけどが知られることによって、どれほど原爆に対する抑止力になったか、その効果は計り知れません。また、A先生のように目立った活動はされなくても、何年かに一度だけ話される体験談の重みを感じて、それを心に止めた何百という教え子が広島を伝える教師となり、またその教え子が広島を伝えていくという連鎖も、大きな意味があるように感じます。広島と長崎は大きな人権問題です。平和ももちろん大切ですが、原爆により被爆者とその家族の人権が踏みにじられ、いわれのない差別が生まれてしまったという事実についても、世界で唯一の被爆国の日本に住む我々の使命として、ぜひ考えてほしいと思います。その際、ネットだけで調べると、誤った知識に導かれていってしまう恐れがあります。ぜひ、本のようなある程度検証がきちんとなされている情報をもとに考えていってくれることを期待しています。

【9月1日に元気な姿で登校しよう】

それでは明日からの44日間を、それぞれ有意義に過ごし、9月1日には元気な姿で登校してくれることを期待しています。熱中症や事故に気を付けて、元気に過ごしてください。鶴中生の皆さん、一学期間、お疲れ様でした。

2 表彰されました（7月14日（月）生徒朝礼 18日（金）一学期終業式）

7月14日（月）

《剣道部》 団体・個人 都大会出場認定証

東京都中体連第7ブロック 中学校夏季剣道大会 団体：準優勝 個人：都大会進出

《硬式テニス部》 夏季町田地区中学校テニス大会（団体の部）第3位

7月18日（金）

《水泳部》女子個人：自由形50メートル、バタフライ100メートル

男子個人：自由形1500メートル、400メートル

水泳の2名は全国大会に出場します。おめでとうございます！

3 児童生徒を体罰や性暴力の被害から守るために

7月18日（金）の終業式後に、校長より夏休み中に悩みを抱えたとき、そして1学期中に学校等において体罰や性暴力を受けた際の相談先について話をさせていただきました。参考資料として4月に配信した「保護者の皆様へ」を再掲させていただきます。

○夏季閉庁期間（8月10日（日）から15日（金）） 教職員の出勤は一切ありません。

12日（火）から15日（金）は日直も不在です。この間は原則として部活動もありません。この間に緊急の事態が生じた場合は、警察や町田市教育委員会に相談・連絡してください。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いします。

保護者の皆様へ（再掲）

日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。

本校では、お子様が心と体を大切に守り、充実した学校生活を送ることができるように、努めております。

お子様が、悩みや不安がある際は、いつでも学校に相談することができます。

しかし、周囲の大人に相談しにくい、直接話すことができないなどあった場合は、一人で抱え込まずに、配布した相談シートを活用し、相談することができます。

御家庭におかれましては、学校生活における出来事について話し合う機会をもってください。お子様が「痛いな」「恐いな」「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と感じるがあれば、学校に御相談いただくか、相談シートや各種相談窓口を御利用ください。相談シートは、性暴力等だけでなく、体罰等に関する相談も記載することができますようになっております。

私たち教職員は、今後も児童・生徒の心と体を大切に守り、充実した学校生活を送れるようにしてまいります。保護者の皆さまにおかれましては、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



児童・生徒を教職員等による性暴力
から守るための第三者相談窓口
（保護者の方も相談できます。）

令和7年4月10日
町田市立鶴川中学校
校長 大石 眞二